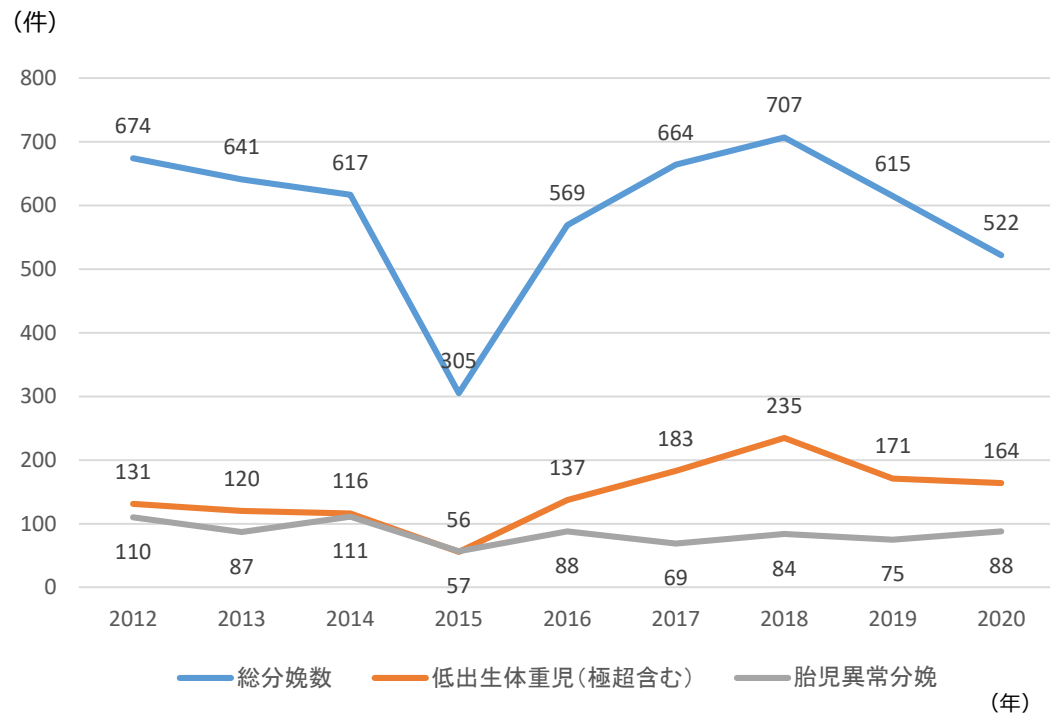
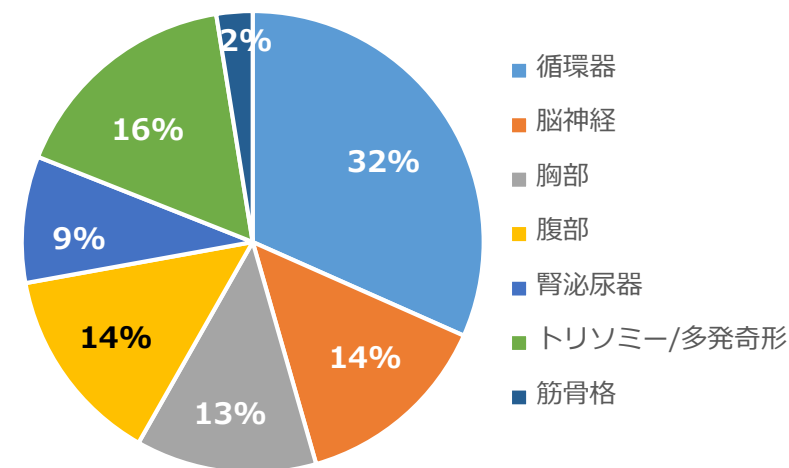


### 年間分娩件数の推移



### 胎児異常の内訳 (2020年)



年間分娩数500~600件程度で、そのほとんどがハイリスク妊娠です。2015年度は、病棟改修のため分娩を制限しましたが、2016年以降、前年と同じくらいの分娩数に回復しています。帝王切開率は約40%で、その半数が緊急帝王切開です。分娩時や分娩後の緊急時の対応も院内で整備をし、安全に周産期を過ごせるように随時院内体制を更新しています。

分娩数は増加しなくなりましたが、出生前診断される胎児異常は多く100例ほどです。約3割が心臓疾患、その他にも小児外科疾患や脳外科的疾患、トリソミーの症例も多く見られました。出生前診断することにより分娩後のケアの準備が可能となり、新生児予後の向上に貢献しています。当院小児科・小児外科・千葉県こども病院と連携して治療にあたっています。